

市立伊勢総合病院 健診センターを受診いただきまして、ありがとうございます。
当健診センターはいろいろな検査を行い、皆様の健康管理にお役に立てる様、努力しております。

1.身体計測

身長・体重	体重が昨年と比べて変化したかに注目。急な増減は要注意です。
標準体重	身長(m)×身長(m)×22で計算します。
肥満度	(実測体重(kg)－標準体重(kg))÷標準体重(kg)×100で計算します。
体脂肪率	からだに含まれるすべての脂肪を体重に対する割合で表しています。
BMI	BMI＝体重(kg)÷身長(m)÷身長(m)で計算します。BMI「25」以上を肥満と判定します。
腹囲	内臓脂肪の蓄積の程度を調べます。

2.血圧測定

最高／最低血圧	心臓が収縮(最高血圧)又は拡張(最低血圧)した時に血管壁にあたる血流の強さです。
---------	--

3.尿検査

PH(酸性度)	尿の酸性度を調べる検査です。通常は中～弱酸性ですがさまざまな要因で変動します。
尿糖	尿中の糖分の有無を調べる検査です。血糖値が高い時に陽性になる事があります。
尿蛋白	尿中の蛋白の有無を調べる検査です。腎炎や起立性蛋白尿で陽性になります。
尿比重	腎臓の尿の濃縮力を調べる検査です。腎炎や水分摂取等で変動します。
ケトン体	脂肪代謝が亢進すると尿中に検出されます。糖尿病や下痢等の場合にも陽性になる事があります。
尿ビリルビン	肝機能障害や胆道閉鎖症などの検査に用いられます。
尿潜血	尿の中に含まれる赤血球の有無を検査します。腎炎、尿道炎、尿管結石等で陽性になる事があります。
尿ウロビリノーゲン	ビリルビンが代謝され、尿中に排出されたもので、肝機能障害等の検査に用いられます。
尿沈査	尿を遠沈して顕微鏡で細胞成分を検査します。(赤血球、白血球、扁平上皮細胞、細菌等)

4.眼科検査

〈色覚検査〉 石原表	色覚が正常であるか否かを検査します。
〈眼圧検査〉 眼圧検査	眼球の中の房水といわれる水の圧力をあらわしたものです。緑内障の早期発見、経過観察には欠かせない検査です。
〈眼底検査〉	網膜に通っている血管や視神経の状態を写真に撮影します。
K-W 分類 Scheie 分類	高血圧や動脈硬化の眼底変化をあらわし、他にも糖尿病網膜症の状態等が分かります。
OCT	眼底の断面図を調べることにより、眼の奥に隠れた病気を見つけます。

5.便潜血・虫卵検査

便潜血	消化管の出血をチェックします。特に大腸癌の早期発見に有用です。
-----	---------------------------------

6.血球検査

白血球数	体に侵入してきた細菌、ウイルス、異物、有害物等をとらえ、排除したり殺したりする役目をします。
赤血球数	肺で取り入れた酸素を全身に運び、不要となった二酸化炭素を回収して肺に送る役目をします。
ヘモグロビン	赤血球の中の物質で酸素を運ぶ働きをしています。少ないと貧血が疑われます。
ヘマトクリット	血液全体に占める赤血球の割合です。少ないと貧血が疑われます。
MCV	赤血球の平均容積を示します。(平均赤血球容積)
MCH	1個の赤血球に含まれるヘモグロビンの量を示します。(平均赤血球血色素量)
MCHC	1個の赤血球に含まれるヘモグロビンの濃度を示します。(平均赤血球血色素濃度)
血小板数	止血の際に重要な成分です。
血液像	白血球には好中球・好酸球・好塩基球・単球・リンパ球等があり、血液像はそれらを割合で示したものです。

基準値：健康な人の集団の検査値をもとに、そのうち上位と下位の各2.5%を除き、残る95%の人が含まれる範囲を統計的に求めたものです。

6.血球検査(続き)

血液型	ABO型、Rh型の血液の型を調べます。
血沈	赤血球の沈む速度を測定する事で、炎症の有無や貧血を測定します。

7.免疫血清学的検査

CRP定量	体内で炎症が起こると血液中に急増するたんぱく質の一種です。
リウマチ因子	リウマチ患者に高頻度で見られる蛋白質を検査します。
ASO	上気道感染症の多くを占める溶血性連鎖球菌に感染したかどうかを調べます。
HBs抗原	B型肝炎ウイルスの感染の有無を調べます。
HBs抗体	B型肝炎ウイルスに感染しているか、また過去に感染した事があるかを検査します。
HCV抗体	C型肝炎ウイルスに感染しているか、また過去に感染した事があるかを検査します。
梅毒	梅毒に感染しているかを調べる検査です。膠原病、結核等でも陽性に出る事もあります。
TP抗体	トレポネーマ(梅毒の病原体)に過去に感染したことがあるかを調べます。

8.生化学検査(腎臓)

尿素窒素	体内で使用された蛋白の老廃物で腎疾患の経過観察に用いられます。
クレアチニン	腎機能が正常かどうかを知るために大変重要です。

8.生化学検査(肝臓)

総蛋白	血清中の総蛋白で、栄養状態や、肝臓・腎機能などの程度を反映します。
アルブミン	血清中のアルブミン量で肝機能障害・消化吸収障害・腎疾患等の程度を反映します。
A/G比	血清蛋白中のアルブミンとグロブリンの割合から、病気の見当をつけます。
ZTT	肝障害や慢性炎症疾患で高値を示します。
総ビリルビン	血液中の黄疸の総量で肝疾患や胆管疾患の診断に用いられます。
直接ビリルビン	肝疾患の診断、黄疸などの鑑別に必要な検査です。
GOT GPT	肝臓、心臓、筋肉などに多い酵素で肝炎や心筋梗塞の診断に用いられます。
LDH	あらゆる細胞に多い酵素で肝臓病・心筋梗塞などの診断に用いられます。
ALP	肝疾患・胆管疾患・骨病変を伴う疾患等の診断に用いられます。
γ -GTP	肝機能の指標のひとつでアルコール肝障害などの診断に用いられます。
LAP	肝、胆道疾患、急性膵炎などの診断に用いられます。
CHE	肝臓で合成されるため、肝疾患などの診断に用いられます。
CPK	骨格筋、心筋に多い酵素で、心筋梗塞や骨格筋損傷などの診断に用いられます。

8.生化学検査(膵臓)

アミラーゼ	膵臓や唾液腺に多い酵素で膵炎や耳下腺炎などの診断、経過観察に用いられます。
-------	---------------------------------------

8.生化学検査(痛風)

尿酸	尿酸の結晶が手足の関節などについてしまうと「痛風」の原因になる場合があります。
----	---

8.生化学検査(脂質)

総コレステロール	血液中の全ての脂質を測定します。
HDLコレステロール	血管壁の細胞から余分なコレステロールを肝臓に運び戻す働きをして、動脈硬化を防ぐため「善玉」と言われます。
LDLコレステロール	血管壁にコレステロールを貯め、動脈硬化を促進するため「悪玉」と言われます。
中性脂肪	高値が続くと、動脈硬化を起こしやすくなります。

9.腫瘍関連検査

AFP	肝臓腫瘍等が発生すると増える腫瘍マーカーです。 肝炎等でも増える場合があります。
CEA	消化器系腫瘍等が発生すると増える腫瘍マーカーです。 喫煙者、肺結核、慢性肝炎等でも増える場合があります。
PSA	前立腺腫瘍等が発生すると増える腫瘍マーカーです。 前立腺肥大等でも増える場合があります。
CA19-9	膵臓腫瘍や胆道腫瘍等が発生すると増える腫瘍マーカーです。 慢性膵炎等でも増える場合があります。
CA125	卵巣腫瘍等が発生すると増える腫瘍マーカーです。 良性卵巣腫瘍、子宮内膜症でも増える場合があります。

8.生化学検査(電解質)

Cl・Na・K Ca・無機P	電解質は血清浸透圧、酸塩基平衡細胞活動の維持などに重要な物質です。その異常は、個体の生命を左右するほど重要な意味を持っています。
血清鉄(Fe)	鉄欠乏性貧血の鑑別に用いられます。
TIBC(総鉄結合能)	血清中の蛋白質と結合し得る鉄の量を測定します。

10.聴力検査

オーディオ	低い音(1000Hz)と高い音(4000Hz)を使い、聴力の検査を行います。 難聴の早期発見に役立ちます。
-------	--

8.生化学検査(糖尿病)

ヘモグロビンA1c	過去1~2ヶ月の血糖の平均値を測ります。高いと糖尿病が疑われます。(食事の影響を受けません)
血糖(空腹時)	血液中に存在する糖(グルコース)を検査します。高いと糖尿病が疑われます。(食事の影響を受けます)
尿糖	尿中の糖分の有無をみます。 血糖値が高い時に増えることがあります。

11.肺機能検査

肺活量	息を深く吸い込み、ゆっくりと吐けるだけ吐き出した時の息の量(肺の容量)を調べます。
1秒量	息を吸えるだけ深く吸い込み、できるだけ速く吐いた時(努力性肺活量)の最初の1秒に吐き出した息の量です。
1秒率	1秒量が努力性肺活量に占める割合です。気道の通過状態を示しています。
最大中間流量	肺の末梢気道病変の検出に有効で、閉鎖性障害では低下します。

12.心電図検査

心臓を動かす電気信号を体の表面でとらえて波形とする検査です。
不整脈・心肥大・狭心症・心筋梗塞等をみます

13.心機能検査 (NT-proBNP)

NT-proBNPは心臓に負担がかかった状態になると血液中の値が高くなりますので、潜在する心臓の異常を把握するための検査として有用です。

14.胸部レントゲン検査・CT検査

肺の病気の有無や、心臓の大きさ・大血管の大きさを見ます。

16.胃部検査

胃透視検査	造影剤(バリウム)を胃壁などに附着させて、X線で食道・胃や十二指腸の病気を調べます。
-------	--

内視鏡検査	内視鏡にて胃・十二指腸などの内壁の粘膜表面を直接観察します。
-------	--------------------------------

組織生検	胃・十二指腸の粘膜を一部採取して細胞検査をします。
------	---------------------------

17.H.ピロリ菌検査

ヒトの胃に生息する細菌で慢性胃炎・胃潰瘍・十二指腸潰瘍・胃癌等の原因となる病原菌の有無を調べます。

18.腹部超音波検査

超音波による肝臓・胆道・膵臓・脾臓・腎臓などの腹部臓器のスクリーニング検査です。

19.甲状腺超音波検査

超音波を用いての、甲状腺のスクリーニング検査です。

20.心臓超音波検査

超音波を使って、心臓の動きや大きさを調べます。

21.骨塩定量検査

腕にX線をあて、骨密度の測定をすることで骨粗しょう症の検査をします。

22.婦人科検査

子宮細胞診	子宮頸部の粘膜を、綿棒などでこすって細胞を採取し、顕微鏡で細胞を調べます。
-------	---------------------------------------

経膣エコー	膣からの超音波検査です。普通の診察ではわからない子宮や卵巣の状態がわかります。
-------	---

23.乳房超音波検査

乳房エコー	超音波を使って、乳房腫瘍や石灰化がないか調べます。
-------	---------------------------

マンモグラフィー	専用の器具で乳房をはさんでX線撮影をして、乳房腫瘍や石灰化がないか調べます。
----------	--

24.脳ドック検査

頭部MRI	磁気共鳴画像検査は、磁気を利用して、頭部の断面像を横・縦等に写し出す検査です。
-------	---

頭部MRA	磁気(MRI)を利用して頭部の「血管」を写し出す検査です。
-------	-------------------------------

頸動脈超音波検査	超音波を利用して、頸動脈の血管性状や血流動態を調べます。
----------	------------------------------

高次脳機能検査	言語聴覚士が、簡単な言葉数字を用いて脳の検査をします。
---------	-----------------------------